土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.2-西ノ谷川支川-補助基準点2	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 10.0590″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 8月21日～ 令和2年 8月24日	東経	132° 33′ 35.9696″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 189.10m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーTF120V-E / ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	188.50	0.60		粘土混じり砂		褐			中～粗砂の砂を主体とする GL-0.30～0.55m間は耕土状	8/24 1.10
1				粘土混じり砂		淡褐灰	rd1		中～粗砂の砂を主体とする 細粒土分を10～20%含有する 径1cm以下の礫を混入する	
2	186.85	2.25								
	186.60	2.50		花崗岩		淡茶灰	rd3		花崗岩の風化部　DM級	
3				花崗岩		淡灰			CM級岩盤 全般的にL=15cm以下の短柱状～柱状コアで採取する 亀裂面は淡茶褐色に変色する GL-3.20mからコア肌が粗くなり亀裂間は礫状～岩片状となる GL-3.85m付近よりL=6cm以下の短柱状コア主体となる	
4						淡茶灰				
5	184.10	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1 / 140	1 / 140	1 / 110	3 / 390		
	1.54						
50以上	2.15	14	36 / 60		50 / 160	160	
	2.31						

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				8/21
				8/24